

1. 2024 年下半期報告

新年明けましておめでとうございます。2024 年もここパプアニューギニア(PNG)では様々な事業が行われました。ご支援・ご協力頂いた関係者の皆様、そして日本国民の皆様へ深く感謝申し上げます。

2025 年 1 月現在、当地では有償資金協力事業 2 件、技術協力プロジェクト 10 件(うち 1 件は実施準備中)、個別専門家 3 件、海外協力隊 16 名、民間連携事業 1 件、日本での長期研修員 44 名を実施中/派遣中です。その他、文化無償資金協力事業 1 件、一般無償資金協力事業 2 件を実施中(うち 2 件は実施準備中)です。

2024 年下半期の主な事業について、以下のとおりご報告いたします。

(1) PNG における日本の ODA50 周年！

PNG における日本の政府開発援助(ODA)は 1974 年に始まり、2024 年で 50 周年を迎えました。10 月 17 日、PNG 政府、日本大使館、国際協力機構(JICA)共催による記念式典を開催しました。



式典にはジェームス・マラペ首相をはじめとした閣僚や PNG 政府関係者、他国在外公館、国連機関、大学、民間企業、NGO などから 200 名以上が参加し、式典の様子は当地メディアでも大々的に取り上げられ、長年にわたる日本の ODA の成果や両国の信頼関係があらためて広く認知される機会となりました。

JICA 本部から参加した廿枝理事のスピーチでは、「信頼で世界をつなぐ」JICA のビジョンとともに、今後も両国が協力し合いながら、様々な課題へ挑戦していくことが言及されました。マラペ首相からは、独立前から真っ先に協力の手を差し伸べてくれた日本を「真の友」と表現し、これまでの日本の協力に感謝の言葉を述べるとともに、今後はより民間投資や貿易面でも両国の関係を深めることで両国の発展につなげていきたい旨の言及がありました。

https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/press/2024/1554051_52907.html

(2) PALM10 に PNG 政府からも参加



7 月 16 日から 18 日にかけて東京で開催された第 10 回太平洋・島サミット(PALM10)に PNG からマラペ首相をはじめとした外交団が日本を訪問しました。7 月 18 日には、マラペ首相と田中 JICA 理事長との対談も行われました。マラペ首相からは、PNG において 50 年にわたる ODA への感謝の意が示されるとともに、田中理事長とは今後の協力についても意見交換を行いました。

7 月 16 日から 18 日にかけて東京で開催された第 10 回太平洋・島サミット(PALM10)に PNG からマラペ首相をはじめとした外交団が日本を訪問しました。7 月 18 日には、マラペ首相と田中 JICA 理事長との対談も行われました。マラペ首相からは、PNG において 50 年にわたる ODA への感謝の意が示されるとともに、田中理事長とは今後の協力についても意見交換を行いました。

(3) ウィル・ゲニア選手が JICA PNG 事務所を訪問

8 月 28 日、PNG 出身のラグビー選手、ウィル・ゲニア選手が JICA 事務所を訪問しました。ゲニア選手は、オーストラリアやフランスのラグビーリーグで活躍したのち、2019 年より近鉄ライナーズ(現:花園近鉄ライナーズ)に加入し、ジャパンラグビー リーグワンで活躍中です。今回のゲニア選手の訪問は、当地における日本の ODA50 周年を記念した広報活動の一環として、花園近鉄ライナーズのご協力のもと実現しました。



当日は、JICA 事務所において事業紹介をした後、海外協力隊が活躍するソゲリ小学校を訪問しました。ゲニア選手は、ソゲリ小学校で活動する 2 名の海外協力隊員の授業(算数と環境教育)を視察した後、全校生徒が待つ広い運動場で、自身の生い立ちや海外での生活、選手としての活躍などを語り、「夢を追い続けることは簡単ではないが、諦めずに努力し続けることで、必ず道は開ける」と、子どもたちの心に深く響くメッセージを送りました。

今回の訪問をご快諾頂いたゲニア選手と花園近鉄ライナーズに厚く御礼申し上げます。

https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/topics/2024/1550323_52908.html
https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/topics/2024/1550522_52908.html

(4) JDS プロジェクトの GA 署名

8 月 22 日、新たな無償資金協力、「人材育成奨学計画 (JDS)」の実施に向けて、国家計画モニタリング省



(DNPM)との間で贈与契約 (G/A) を署名しました。

本事業は、PNG の優秀な若手行政

官などを日本の大学院に留学生として受け入れ、社会・経済発展のための専門的な知識を得ることを目的としています。これら留学生が帰国後には、留学中に得た専門知識をもとに PNG の発展のために活躍すること、さらには日本の良き理解者として両国友好関係の深化に貢献することが期待されています。

今後、PNG からは毎年約 15 名の政府職員が日本で学ぶことが予定されています。

https://www.jica.go.jp/activities/schemes/grant_aid/summary/JDS.html

(5) PNG における公共投資管理をより効果的に

8 月 16 日、新たな技術協力プロジェクト、「公共投資管理プロジェクト」の開始に向け、JICA PNG 事務所は国家計画・モニタリング省 (DNPM) との間で討議議事録 (R/D) に署名しました。本事業では、過去の専門家派遣を踏まえて、DNPM 及びパイロット省庁において、公共投資プログラム管理ガイドラインに基づいた事業選定及びモニタリングが行われ、公共投資事業予算の執行状況の透明性の向上を目指します。

(6) フィラリア対策におけるエーザイ㈱との連携

9 月 18 日、「フィラリア対策プロジェクト フェーズ 2」における集団投薬 (MDA) で使用される薬剤の 1 つであるジエチルカルバマジン (DEC) を無償提供して頂いている (株) エーザイの東京本社を、プロジェクトの山



内チーフアドバイザー (写真左) が訪問しました。山内アドバイザーからはプロジェクトの進捗状況と今後の計画などについて説明し、(株) エーザイのサステナビリティ部

担当者様からは他国での MDA の経験や PNG への薬剤の出荷状況の情報を共有いただき、今後とも互いに密に情報交換していくことを確認しました。

https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/press/2024/1557587_52907.html

(7) 道路整備の技術協力が終了へ

JICA は 2021 年 3 月から道路整備分野での技術協力プロジェクト (フェーズ 2) を実施してきました。8 月 28

日、この事業の合同調整委員会 (JCC) 会議を行い、関係者とともに、これまでの事業進捗を確認しました。本



事業は前フェーズから 7 年にわたり、公共事業省及び 8 つの州を対象に未舗装道路の整備・維持管理能力強化を行ってきました。この事業は 2025 年 3 月に終了となります。

ですが、今後は PNG 政府により、これら成果をもとに、道路整備を行っていくことが期待されています。

(8) 日本の教育関係者が PNG を訪問

7 月 29 日から 8 月 2 日にかけて、JICA 教師海外研修が行われました。同研修では、日本の教員や教育関係者 10 名が当地を訪問し、当地教育省や ODA 事業現場の視察を行いました。今回訪問した先生方は日本の教育現場において、国際協力理解促進に向けた教育活動を行うことが期待されています。



https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/press/2024/1546989_52907.html

(9) 日本式算数ワークブックで小学生の能力強化

JICA は 2016 年から 20 年にかけて実施した技術協力プロジェクトで PNG で初となる小学校 (3~6 年生) の算数と理科の教科書作成に協力しました。その後、このプロジェクトに参加した学校図書 (株) による、算数



ワークブックの普及実証調査を民間連携事業にて行ってきました。9 月 5 日、ワークブック紹介のためのセミナーが PNG 教育省の協力のもと開かれ、当地の教育関係者からも高い

関心が集まりました。今後、同ワークブックの普及により、当地小学生の算数能力向上につながることを期待されます。

(10) 2025 年上半期に向けて

2024 年は PNG における ODA50 周年でしたが、2025 年は日本と PNG の外交関係樹立 50 周年の節目となる年です。JICA PNG 事務所は引き続き PNG の経済・社会発展への貢献とともに、両国の信頼関係の強化に努めてまいります。

2. トピックス: 現地関係者紹介

当地で活躍する専門家や、JICA 海外協力隊、事務所スタッフをご紹介します。

【専門家】

初等理数科教員養成校強化プロジェクト

伊藤明德 チーフアドバイザー



私は 2020 年から実施されている教育分野のプロジェクトのチーフアドバイザーとして高等教育省と教育省のカウンターパート(CP)と共に、教員養成校の講師と学生用の理数科教材の開発をしています。3 年間の活動を通じて、CP の理数科の知識と教材開発能力が向上し、質の高い教材が開発されてきました。既に教材案は現場で活用され、最終化されています。

私は、海外協力隊員として 1990 年に、東ハイランド州の観光局ビデオ学校に派遣されました。熱心な CP に恵まれ、PNG の文化を学びながら活動し、自分が役に立っている喜びを実感しました。また、家族同様に接してくれる友人達と PNG の大自然、伝統文化に魅せられ、PNG の発展のために継続して活動したいと考えました。運良く隊員活動後に教育省でシニア協力隊員、続いて国立教育メディアセンターでテレビ番組を使った授業改善プロジェクト、カリキュラム開発局で理数科国定教科書の開発プロジェクトなどの指揮を取ることができました。光栄なことに 2015 年には PNG 政府から公共サービス勲章を受勲しました。早いもので、PNG で活動を開始して今年が 35 年目となります。情熱のある CP と共に、質の高い教師の育成、学校現場での授業改善が行われることを願っています。

【JICA 海外協力隊】

2024 年 9 月に 2 名、11 月には 7 名の新規隊員が着任し、合計 16 名となりました。隊員の皆さんは首都ポートモレスビーで語学研修などを受けた後、それぞれの任地に赴きました。

皆さん、健康、安全に留意しつつ活躍されることを期待しています！

○ 9 月着任



(左から)
鈴木 佑 隊員
(青少年活動/オロ州ポポンデッタ市、ポポンデッタ小学校)
原 大 隊員
(野菜栽培/東ハイランド州ゴロカ市、東ハイランド州農業畜産局)

○ 11 月着任



(後列左 2 番目から)

村岸雅基 隊員

(小学校教育/オロ州ポポンデッタ市、リザレクション小学校)

長谷川将亜紀 隊員

(コミュニティ開発/東ニューブリテン州ラバウル、ラバウル郡開発事務所)

北山敦裕 隊員

(青少年活動/オロ州ポポンデッタ、リザレクション小学校)

(前列左から)

松本向生 隊員

(環境教育/ミルンバイ州アロタウ市、アロタウ市役所)

小林虹矢 隊員

(青少年活動/オロ州ポポンデッタ市、ベセル小学校)

和田真輝 隊員

(環境教育/東ハイランド州ゴロカ市、ゴロカ市役所)

満尾洋祐 隊員

(環境教育/東ニューブリテン州ココポ市、ココポ・ブナマミ市役所)

【JICA 事務所スタッフ】

アラン・エコ現地職員(プログラム・オフィサー)



私は 2012 年 10 月から JICA PNG 事務所に勤務しています。インフラ、水産、農業、ガバナンス分野、さらには緊急援助を担当するとともに、研修事業も総括しています。PNG における日本の ODA は 1974 年に始まりました。この

国の発展のために 50 年間にわたり多大な支援をしているこの機関で働くことを、とても光栄に思っています。

PNG の持続可能な発展のために、是非このニュースレターの読者の皆さんとも一緒に協力できればと思います！

3. 事業リスト

(2025 年 1 月現在)

3-1. 重点分野①: 経済成長基盤の整備

(1) 経済インフラ整備・維持管理プログラム

- ・ (専門家)開発計画アドバイザー
派遣期間 2024 年 3 月～26 年 3 月
- ・ (有償¹)ナザブ空港整備事業
L/A 調印 2015 年 10 月、借款契約額 269.42 億円
<https://www.jica.go.jp/oda/project/PN-P11/index.html>
https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/press/2023/1519597_14561.html
- ・ (技プロ²)道路整備能力強化プロジェクト・フェーズ 2
実施期間 2021 年 3 月～25 年 3 月
<https://www.jica.go.jp/oda/project/1900298/index.html>
- ・ (専門家)電化政策実施促進アドバイザー
実施期間 2024 年 6 月～26 年 6 月
- ・ (有償)ラム系統送電化網強化事業
L/A 調印 2013 年 8 月、借款契約額 83.40 億円
<https://www.jica.go.jp/oda/project/PN-P10/index.html>
- ・ (技プロ)電力系統計画・運用能力向上プロジェクト
実施期間 2022 年 3 月～25 年 3 月
- ・ (技プロ)運輸省港湾政策及び行政能力強化プロジェクト・フェーズ 2
実施期間 2022 年 3 月～25 年 3 月
<https://www.jica.go.jp/oda/project/201905175/index.html>
- ・ (技プロ)公共投資管理プロジェクト
実施期間 2024 年 12 月～26 年 12 月
- ・ (技プロ)土地管理情報システム構築・促進プロジェクト
実施準備中

(2) 産業振興プログラム

- ・ (技プロ)資源収入管理能力向上プロジェクト・フェーズ 2
実施機関 2024 年 3 月～2027 年 2 月
https://www.jica.go.jp/information/press/2023/20231018_42.html
- ・ (民連³)零細漁業者のバリューチェーンへの連結による小型船外機船市場創出の普及・実証・ビジネス化事業
実施期間 2023 年 11 月～26 年 2 月
- ・ (無償⁴)国立水産訓練校施設整備計画準備調査
実施期間 2023 年 11 月～2025 年 5 月

3-2. 重点分野②: 社会サービスの向上

(3) 教育支援プログラム

- ・ (専門家)教育政策アドバイザー
派遣期間 2024 年 2 月～26 年 1 月
- ・ (技プロ)初等理科教員養成校強化プロジェクト
実施期間 2020 年 9 月～25 年 11 月
<https://www.jica.go.jp/oda/project/1900299/index.html>

(4) 保健医療プログラム

- ・ (技プロ)フィラリア対策プロジェクト・フェーズ 2
実施期間 2023 年 4 月～27 年 5 月
<https://www.jica.go.jp/oda/project/202108336/index.html>

3-3. 重点分野③: 環境・気候変動・防災

(5) 環境保全プログラム

- ・ (技プロ)大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト・フェーズ 3
実施期間 2023 年 7 月～28 年 7 月
<https://www.jica.go.jp/oda/project/202004886/index.html>

- ・ (技プロ)森林伐採モニタリングシステム改善を通じた商業伐採による森林劣化に由来する排出削減プロジェクト
実施期間 2022 年 4 月～25 年 4 月
<https://www.jica.go.jp/Resource/project/png/009/outline/index.html>

3-4. 課題別研修・長期研修

- ・ 課題別研修
2024 年度は、64 コース、64 名の研修員が課題別研修を受講予定です。
- ・ 長期研修
2025 年 1 月現在、日本の大学院において、以下の研修員が主に大学院修士課程を専攻中です。
SDGs グローバルリーダー: 36 名
KIZUNA プログラム: 5 名
Agri-Net プログラム: 3 名
(無償)人材育成奨学計画(IDS): 実施準備中
<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/dsp-chair/dsp/course/index.html>

3-5. JICA 海外ボランティア

現在、16 名の海外ボランティアが活躍中。年度内に 1 名が新たに着任し、合計 17 名となる予定です。
https://www.jica.go.jp/overseas/png/activities/1521082_14098.html

3-6. JICA チェア

2024 年 5 月に、PNG で 3 回目となる JICA チェアを開催。国立バブアニューギニア大学に加え、工科大学(UNITEC)などの大学をオンラインで結び、多くの学生の間で日本研究への関心が高まりました。
<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/dsp-chair/index.html>
https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/press/2024/1537146_52907.html

3-7. ジェンダー主流化への取り組み

JICA 関係者に対して性的ハラスメントの防止セミナーの開催や、PNG で活躍する女性を FB での広報、UN Women と共同でのイベント実施などを行っています。また、表紙右上のロゴはジェンダー主流化活動促進に向けて事務所デザインしたものです(2024 年 12 月に更新)。
https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/topics/2023/1534775_14562.html

3-8. 緊急援助

JICA は日本政府の決定により、自然災害等の被害に対して緊急援助もを行っています。
<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/jdr/index.html>
https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/press/2024/1540195_52907.html
https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/press/2024/1536012_52907.html

3-9. JICA 研修員同窓会事業

現在、4,000 名超が同窓会に所属しており、同窓会ニュースレターの発行等の活動をしています。

JICA パプアニューギニア事務所
2nd Floor, PWC Haus, Harbour City
Port Moresby, NCD, Papua New Guinea
P.O. Box 1660
Tel: +(675) 321-2677
E-mail: pn_oso_rep@jica.go.jp
URL: <https://www.jica.go.jp/overseas/png/index.html>
FB: <https://www.facebook.com/jicapng/>
YouTube:
<https://www.youtube.com/watch?v=oR5r8IblTyA>

¹ 有償:有償資金協力

² 技プロ:技術協力プロジェクト

³ 民連:民間連携事業

⁴ 無償:無償資金協力